



障害者スポーツ大会 春大会

4月15日(日)に、サッカーの大会(岐阜市島西グラウンド)が、22日(日)にバスケットボールの大会(岐阜市北西部体育館)が開かれました。



サッカーは、1回戦は中濃と羽島特支の合同チームに4対0で勝ち、2回戦に進みました。2回戦は、本校の卒業生が多く在籍するチームIBISとの対戦となり、接戦の末、0対0で試合を終え、PK戦で惜しくも敗れてしまいました。フレンドリーの部は、1回戦、2回戦と勝ち上がり、優勝!!! 決勝戦では、パスがよくつながり、見事なゴールでの勝利でした。

バスケットボール女子は、1回戦で可茂特支に36対14で敗れました。在校生選手が3人しかいないため、卒業生や恵那、岐阜清流高等特支との合同チームでした。もう少し部員が増えると、本校の在校生でチームが組めます。中学部、高等部で運動がしたいと思っている女子生徒は、バスケットに挑戦してみませんか。

連絡帳・宿題

最近、先生方をお願いしたことをお知らせします。まだ教員経験の浅い先生や初めて特支で教える先生方も多いですので(そんなことは言い訳にはなりません)、連絡帳と宿題の意味について伝えました。

連絡帳は、子どもの成長を保護者とともに確認していくための大切なやり取りの場です。先生方には、単なる連絡やその日の活動報告で終わらないように、短いやりとりですが、内容のあるコミュニケーションをお願いしました。連絡帳でお伝えしたことが、家庭で親子の会話のきっかけになるといいですね。そのためにも、子どもたちが輝いた場面、成長が感じられることを「具体的」にお伝えしていきたいと思えます。



宿題は、学校での学習の定着を図るとともに、子どもたちの家庭学習の習慣をつける役割をもっています。前年度、どんな宿題を出していたのか、前年度の先生方から確実に引継いでください、とお願いしました。内容や難しさなど、前年度からの「継続性」が大切です。出された宿題の「意図」がわからないときや子どもたちの力に合っていないと思われたときには、遠慮なく担任、部主事にご連絡ください。

宿題によっても子どもたちの力を伸ばしていけるように、教師の側も工夫していきたいと考えています。

